



野上公民館



議会だより

ここのえ

発行／九重町議会

編集／議会広報特別委員会

平成30年11月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1

☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809

メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

ふるさとの

年越し支えん

老し友らと

てい
いやなこと
問題啓発推進協議会

No.120 2018.1.17発行

12月定例会

●平成29年第4回定例会 P.2

●一般質問 4名 P.7

●議会内のさまざまな議論 P.5

●わたしのひとこと P.11

飯田・無田中 酒見 博文^{さん}

野上・後野上 森 隆史^{さん}

改築される野上公民館にて 右田長寿会

平成29年第4回定例会

本定例会は12月1日から12月15日までの15日間開催されました。
議案23件、請願1件、発議1件を慎重に審議しました。

平成29年度 一般会計補正予算(第6号、第7号)

補正前の額 73億0,577万2千円
補正額 6,152万0千円 増額
補正後の額 73億6,729万2千円

◆ 補正予算 主な内容 ◆

歳入

- 地方交付税 1億4,488万1千円
- 減債基金繰入金 △1億0,000万0千円
- 臨時財政対策債 △1,479万5千円
- 民生費国庫負担金・県負担金 2,158万5千円
(児童福祉費・施設型給付費、障害者福祉費・自立支援給付費、外)
- 小水力発電売電収入 320万0千円

歳出

- 総務費 委託料 408万5千円
(地籍測量委託)
- 民生費 扶助費 1,372万0千円
(障害者介護・訓練等給付費)
- 民生費 負担金 1,750万0千円
(こども園施設型給付費負担金(町外施設分))
- 農林水産業費 工事請負費 850万0千円
(パークマット関連施設)
- 農林水産業費 補助金 672万1千円
(農地集積協力金交付事業)
- 農林水産業費 報償費 827万7千円
(有害鳥獣対策)

補正予算質疑

佐藤明郎議員

Q こども園予算の中で、町外施設利用者分の増額要因は、町内施設、受け入れ側の問題なのか、利用者の都合によるものなのか。

A 35名で予算措置したが49名となる見込みで計上、多くは、親の職場の関係など、利用者の意向で町外施設を利用している。

有吉富生議員

Q 農地集積協力金、増額の要因は。

A 10haの計画に対し、最終的に40ha近くになる見込。

Q 県営農業水利施設の事業負担金の内訳は。

A 町の持出しが10・7%で地元が5%の計15・7%の負担金。

増田裕子議員

Q パークマット製造機に伴う、予算の内訳はどうか。

A 倉庫の建設費が七十万、地盤安定処理が百五十万。

新年のごあいさつ

議長 小川 克巳



新年明けましておめでとうございます。
皆様にとつて、光り輝く希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、九重町議会の日頃からの諸活動に対しまして、温かいご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

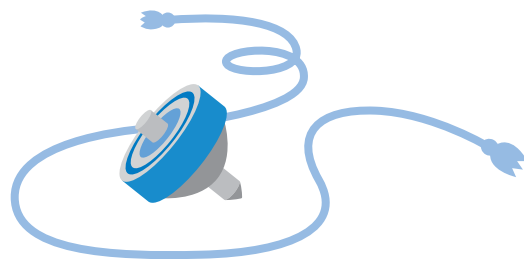
昨年は、異常気象等に伴う九州北部豪雨で朝倉市や日田市に甚大な被害が発生すると共に台風18号では県南、特に津久見市などで水害が発生し、住民はいまだ避難生活を強いられる状況で、一日も早い復興、復旧を願わずには居られません。

さて、景気はゆるやかな回復基調との報道もあります

が、地方では長年続くデフレや不況からの脱出は困難を極めていくように感じます。国も地方創生を声高に叫び、まち・ひと・しごと総合戦略を立ちあげていますが、高齢化社会と人口減少は確実に進み、地方の崩壊さえ危惧される今日です。そのような中、玖珠工業団地に新たな企業進出も計画されており、若い人たちの雇用に繋がることを期待しています。

議会としては、自律のまちづくりを進め、町民の代弁機関として、住民の生活安定と福祉の向上をめざし、活力ある町づくりを進めたいと思います。

本年が皆様方にとつて良き年となるよう、ご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



追加議案 いずれも可決

- ・負担付きの寄付の受納
町田の岐部午二氏及び岐部満代氏より土地（山林）の寄付（町指定史跡岐部城跡を有効に維持管理することが条件）
- ・職員の給与に関する条例等の一部改正
人事院勧告に基づく改正
- ・特別会計（国民健康保険、介護保険、介護サービス事業、水道）補正予算
職員給与改正に伴う補正

付託外議案 いずれも可決

- ・旧慣使用廃止
町田の小倉神社区域の植林地
- ・過疎地域自立促進計画の一部変更（追加）
川西木納水線道路整備事業と防火水槽設置事業

平成29年 第3回臨時会(10月27日)



- 第48回衆議院議員総選挙に伴う予算を町長が専決処分したことを承認しました。
- 野上交流センターの新築工事の入札不落に伴う予算の組み替え及び統合簡易水道事業の工事請負変更契約の締結について可決しました。
- ※野上交流センターについては再度入札が行なわれることとなり、今後新築工事計画が予定より遅れることとなります。

審査報告

議案 8 件

請願 1 件

可決された案件

たいがはいれない」という理由
が加えられることがその内容
です。

九重町情報公開条例及び九
重町個人情報保護条例の一
部改正について

法律の一部改正により、
「個人情報」に「個人識別
符号」が含まれることとなり
ます。

九重町あらゆる差別撤廃・
人権擁護に関する条例の
一部改正について

部落差別解消推進法が施
行されたことにより、条例の
基本理念を改めるものです。

職員の育児休業等に関する
条例の一部改正について

育児休業を特別な事情の
場合2歳まで取れるようにな
る」と、「保育所に入園し

九重町園児送迎バス運営
基金条例の制定について

「特定防衛施設周辺整備調
整交付金」を活用し、「園児
送迎バス」の基金を新たに制
定するものです。

九重町まちづくり寄附金
条例の一部改正について

ふるさと納税を幅広い分野
に使えるように、新たに5つ
の事業が追加されます。

町税条例の一部改正に
ついて

地方税法施行令の一部を
改正することによる「外国税
額控除」の改正です。



いってらっしゃーい
新たに基金を設けたこども園送迎バス

町税特別措置条例の
一部改正について

法律の一部改正により、基
盤強化事業施設の固定資産税
の課税免除等を行うものです。

町営土地改良事業の経費の
賦課徴収に関する条例の
一部改正について

土地に共有者がある場合
等、代表者一人を選任し、
事業参加資格者等とみなさ
れることとなります。

地方財政の充実強化を
求める意見書の提出を
求める請願書

請願については「採択」と
し、国の関係機関に意見書
を提出することで意見の一致
をみました。

審査報告

議案 1 件

継続審査 1 件

可決された案件

九重町特定教育・保育施設
及び特定地域型保育事業の
運営に関する基準を定める
条例の一部改正について

通称「認定こども園法」
が国会で一部改正されまし
た。九重町においては実質的
に変わりませんが、同条例の
引用部分の文言を一部改正
するものです。

「亀鶴苑の施設運営の安定
のための支援を求める
陳情書」について

社会福祉法人玖珠会理事
長三好アツ子氏からの「更な
る追加援助としての支援」を
求める陳情が継続審査となっ
ていました。

その後、執行部からの情報
提供を受け、また陳情者へも
直接意見聴取等をおこないま
した。

「亀鶴苑」は玖珠・九重両
町に関係する老人福祉法に
基づく措置施設です。玖珠
町議会には要望書として提出
されている状況や、両町の関
係機関の協議内容から、さら
なる慎重な審議が必要と判
断し、再び「継続審査」と
しました。



建て替った亀鶴苑

議員の定数・報酬のあり方を議論

九重町議会では、以前より、定数と報酬のあり方について議論を重ねており、今年度は特に、議長から諮問を付託された委員会において議論を行っています。

結論を選挙の一年前には出したいと、大詰めの話し合いとなっています。

定数についての主な意見は

※町民の意思を反映するた



議員定数・報酬等の学習会

めには、削減は望ましくはないのでは

※人口減少が著しい現実があり、削減は避けられない

※議会の機能を維持する最低必要人員は絶対確保

※議決の際、賛否同数とならないよう、議長を除いた数を奇数にすべきでは

報酬についての主な意見は

※話題となっている、活動費も調査費も無く、活動量からみても、高いとは思えない

※議員報酬では、生活できない現実の中、若者や女性の出馬を促すための施

策などを検討すべきでは

※報酬は給料ではないので、生活給として据えるのは、いかがなものか

※高いと言われる面もあるが、県下を見ても、高くない

その他

※もっと、議員活動を、町民に示していく必要性

※若者、女性に出馬を促す手法の検討

様々な課題が山積みの中で、議会が町民の意志を代表する機関であるため、今後議論を深めてまいります。

部落解放同盟との対話会

毎年の対話会、今回は、部落差別解消推進法ができて一年。この法律を活かすための学習会と位置付けま



部落解放同盟九重支部との対話会

した。

学習会後に確認したこと

- 今なお起きている、部落差別の現実を認識
- 地道な啓発活動と学習の繰返しが必要
- この問題に関心をもつ人の広がりが少ない
- 寝た子を起こすな論では、けっして解決しない
- 差別の現実について、いかりを忘れてはならない
- 今後も差別解消に向けた取り組みの強化を確認しました。

10月以後の行事

- 10月5日 議会災害マニュアル検討
- 10月8日 町民体育大会
- 10月14日 県畜産共進会（肉用牛の部）
- 10月21日 隣保館ふれ愛ひろば
- 10月25日 九重ふるさと祭り
- 10月26日 県畜産共進会（乳用牛の部）
- 10月27日 森林林業活性化九州大会
- 11月4日～5日 第3回臨時会
- 11月5日 玖珠九重農業祭
- 11月5日 南山田げんき祭り
- 11月6日～7日 飯田地区農業祭
- 11月13日 県町村議会議長会議員研修会
- 11月13日 東飯田つーだら・だった祭り

議会としての

災害時対応マニュアル

議論



津波・震災に備えて……日田玖珠議長会議員研修会

様々な意見の中、確認された内容は次のとおりです。

全国各地で想定外の自然災害が繰り返されており、熊本・大分地震以降、わが町においてもその対応は不可欠な課題であります。

いざという時議会として、また一議員としてどのような対応が望まれるのか、災害時における対応マニュアルの作成にむけて議論が交わされました。

①町が設置する「災害対策本部」の円滑な作業、運営を守るため、議会は支援の立場を原則とすべき

②本部に議会事務局を加え、情報の共有、提供に努める

③各議員は、周辺地域の状況把握及び支援活動を優先させる

④議会単独の対策本部は設置せず、あくまで、町の対策本部への支援本部とする

その他にも、細かい対応についても話し合われました。

今後は、具体的な災害時対応マニュアルの作成にむけて協議をつづけます。

町の水害の歴史

東日本大震災の教訓の一つは地域の災害の歴史を知ることでした。温故知新ということもあり、町誌等をもとに明治以降の出来事を振り返ってみます。

・明治三二年七月

大雨。筑後川は大洪水。久留米方面で水田を失った方々が千町無田に入植し、今日の美田を作り上げた。

・大正一〇年六月

豪雨。玖珠川が氾濫。天皇勅使が慰問時に展望した恵良の高台を「江上台」と命名した。

・昭和二八年六月

未曾有の豪雨。六月は平年の三倍の雨量。山、崖、道路は崩れ堤防は決壊。鳴

子川鉄橋が流失。被災住宅は約千五百戸、田畑の流出や冠水は約千四百ha、道路決壊や橋の流出は千カ所以上。玖珠郡は長期間、陸の孤島と化した。被害総額は現在の五百億円相当。玖珠川の川幅が拡張され、以降氾濫は起きていない。

・平成一七年七月

記録的豪雨。山腹崩落による流木土砂流が発生し、多数の住宅被害、道路や橋梁被害は36路線、農地被害は49ha。当時の写真は今年の北部九州災害そのものの。

災害は予測ができません。自・共・公での日頃の備えと速やかな行動が大切だと考えます。



昭和28年6月大水害、後野上鳴子川鉄橋流失

11月17日

日田玖珠議長会議員研修会

11月23日

このえ緑陽中学校合唱祭

12月1日

第4回定例会（開会）

12月5日

一般質問（夜間議会）

12月7日

委員会（教育民生観光）のち・愛・人権フェスティバル

12月8日

委員会（総務建設産業）

12月12日

部落解放同盟との対話会

12月13日

議員定数、報酬学習会

12月15日

第4回定例会（閉会）

交通安全街頭指導

12月24日

坂本和昭氏叙勲受章祝賀会

（ここに記した行事は、公式行事のみで、個人的対応、代表者対応の研修などは含まれません。）

町政を質す 一般質問

4名の議員が質問 夜間議会にて開催

有吉
富生



町づくりの取り組みは

.....

町民懇談会等を開催して
町民の意見を聞き入れていく

● 町長と町民の懇談会の 実施状況は

有吉 人と人との繋がりを大切に町づくりをしていくなかで、町民との懇談会をどのように開催したのか。

町長 5月から11回にわたり区長会をはじめ色んな方々と懇談会を開催し、町の課題等について協議ができた、人のつながりが重要と思うのでこれからも進めていく。

● 地区協議会と行政の 連携が図られているか

有吉 地区の課題を検討していくには、地区協議会と行政が連携して町民と協議することが対策につながることはないか。

町長 地区協議会の必要性が高まっているなかで、公民館との関係も密にして連携を持ちながら町づくりをしていく。

● マイナンバー制度の 行政利用状況は

有吉 マイナンバー制度の開始から幅広く活用されるようになってきているが今の状況はどうか。また今後、カード作成の指導が必要ではないか。

町長 カード利用による活用が先月から国、地方自治体で本格的な連携がスタートしたので、これから行政機関においてあらゆる分野での活用が想定される。事務の効率化においてもカードの普及をしていきたい。

● 国の減反政策が終了するが 今後の農業計画は

有吉 今後、町の農業をどう進めていくのか。また関係機関の協議等はされているか。

町長 米から高収益作物への転換、水田の畑地化を推進する等の方針に基づき関係機関と協議推進していく。

● 林業振興の取り組みは

有吉 伐期が来ている山林が多い中、木材単価等の情報周知ができるような窓口が必要ではないか。

町長 町の方には市況が定期的に寄せられている。問い合わせ等の窓口は農林課で行っていく。

● 有害鳥獣捕獲後の処理 施設が必要ではないか

有吉 有害鳥獣による被害は深刻な中で、捕獲後の肉処理、残骸の処理ができる施設の設置が必要ではないか。

町長 11月に大分ジビエ振興協議会が県を中心として設立され、今後町としても参加する予定である。肉については販売を考えたいが、残骸については協議会で対応出来るように協議していく。

フッ化物洗口は理にかなった議論を

…………… 専門機関の見解を参考に実施に向け協議中



麻生 良典

● 確かな事実に基づいたフッ化物洗口協議を

麻生 フッ化物洗口検討委員会の現状、今後の予定と責任者は。

教育長 県の担当課の職員も加え4回会議開催し、保護者のニーズも調査した。来年1月と3月に実施方法とスケジュールを協議する。器材には万全を期し、洗口は希望者のみ実施する。責任者は教育委員会。



♪仕上げはおかあさん♪

麻生 九重町の12歳児の虫歯の状況は。

教育長 保有率は5〜6割。

1人平均虫歯本数は平成23年以降ほぼ2本以上で減少傾向にない。家庭や学校での歯磨きや食育啓発を実施した上での現状である。

麻生 フッ素自体の有効性や副作用に対する見解は。

教育長 科学論文は調査していない。検討委員会の専門家、国内外の専門的機関の見解を参考にした。フッ

化物は劇物だが、洗口液には毒性なしと認識している。

麻生 フッ化物洗口が有効とする根拠は。

教育長 県内や国内の実績に基づき、そのように判断するものである。

麻生 費用対効果は。

教育長 試算していない。1人

当たりの年間の経費は千五百円程度であろう。

麻生 他の自治体の動向に依存せず、しっかりとした根拠のもとに協議し判断することを望む。

● 森林をどのように生かすのか

麻生 森林課題は解決に長期間要する。ビジョンは。

町長 森林には環境保全機能と生産機能

がある。広葉樹や針葉樹の特徴を如何に生かしてこの機能を維持するかを基本とする。杉、檜は伐採、植え付け、下刈りのサイクルを

いかに回すか、クスギはシイタケ栽培の原木に利用するため、作業道の設置等で援助している。

麻生 将来像の実現のため環境林もしくは生産林に誘導する場合、所有者と相談しているか。

町長 森林農家と関連する



昔は一面の杉林だったのに…

団体が計画的に整備する。施策展開する場合、町が係わることがベストであり、今後の状況を見て判断する。

麻生 竹林が広がり続けている。隣地への影響もある。竹活用含め対応はいかに。

町長 県の荒廃竹林整備利活用事業の中で対応する。板材や新素材の面で活用の情報は収集しており、前向きに取り組む。

佐藤
明郎



活動維持に困窮する集落あり 助成金制度の検討を始めるべき

……課題も多いがしっかり議論していきたい

● 町が目指す「住み慣れた所で
生き続けられる」とは

【佐藤】 これを実現するため
に必要なのは、集落活動が
維持される事が条件ではな
いか。

【町長】 人間関係や文化を守
り、集落が元気になってい
くことが基本である。

● 行政施策だけでは
限界がある

【佐藤】 人口減少による人手
不足、交通弱者対策、町の
施策には感謝しているが、
我町のように、広い面積、
多様な集落で、随分条件が
異なる中、平等にニーズに
応えるには、限界があるの
では。

【町長】 労務の提供ができな
いなど、指摘のとおりだ
が、その中で効率的な方法
を検討している。

● 行政のとどこかない所を
集落で解決する支援金

【佐藤】 町の施策を上手に利
用して頂きながら、行き届



集落みんなで町道の管理作業

人手不足対策

不足分の雇用賃金、
小型重機のリース助成
交通弱者支援

近隣の人が、ついで
に乗せてあげる、燃料
代、保険料一部助成
など、など

様々な地域毎の必要
性に、独自のこまりに
自ら分配、活用する。

これらは、町の目指
すものと一致する。け
して、無駄な支援では
ない。

【町長】 指摘のとおりだが、
一律にとはならない。まず
は、集落の方々が自ら解決
しようとする意識も必要で
ある。

● 算定基準も含め
町民と議論すべき

【佐藤】 私なりの算定ポイン
トも提示した。

早速、検討をはじめ、町
民へ投げかけてほしい。

【町長】 喫緊の課題だと考え
ている。今議会終了後、内
部でしっかり議論する。

● このえ学園構想
地域とのつながりは

【佐藤】 地域の方々と学校を
結ぶ評議員ならびに運営協
議会の努力に敬意を表す
る。

さて、学園構想は何年も
前からの計画だが、公民館
の役割を前面に出した。
現場の意志徹底できてい
るのか、計画先行では問
題。

【教育長】 地域差、考えの差
があるのは否めない。

一般の方々にも学校に関
心を持ち、関わって頂ける
ように、地区の連携を深め
て、学園構想の推進を図り
たい。



つーだら・だった祭り 中学生もボランティア

学校でのフッ化物洗口 集団で一斉に行う危険性は

..... 薄めることで安全性は保たれる

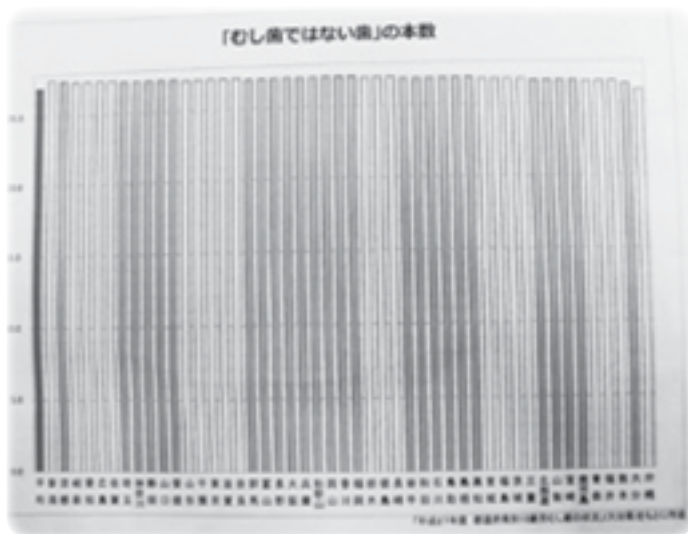


増田 裕子

「むし歯予防」として使う
顆粒のフッ化ナトリウムは
劇薬だが、教育委員会で十
分な検討はなされたか

増田 ガラスコップだった
ら腐食するので紙コップを
使う、そういう薬剤は怖い
という意見はでなかったか。

教育長 出なかった。洗口
剤は劇薬だが、薄めること
によって、安全な普通薬に
なるという認識であり、実



「むし歯ではない歯」の本数の都道府県別グラフ
(大分県は右から2番目！他県とほとんど差はないよ！)

施する方向で検討している。

増田 学校には様々な体質
や性格の子どもたちがお
り、色んな考え方の家庭が
ある。むし歯がない子も多
数いる。薬品を使った「予
防法」を一斉に行うことの
危険性は。

教育長 推奨される方法に
則って適切に実施する限り
は、集団であっても安全に
利用できる判断している。



淮園小学校の見事な取り組み
(歯みがきや食生活改善に家族みんなで！)

増田 子どもの健康とは、
心とからだ全体をとらえる
ものだが、歯だけに集中す
るのはなぜか。

教育長 やはり統計上の現
状の数値が非常に思わしく
ないという判断である。

増田 現在全ての予防接種
は、集団ではなく個別。日
本弁護士連合会が「集団フッ
素洗口・塗布の中止を求め
る意見書」を出している。
化学物質に関する予防原則
および基本的人権の尊重の
点から違法の疑いがある点
については。

教育長 基本的には、薄め
ることによって安全性は保
たれるという立場である。
最終的には丁寧な説明をし
ていき、保護者と子どもた
ちの意志により実施する。
けっして強制的にやるわけ
ではない。

増田 町内各小学校では、
むし歯予防だけでなく、学
校と保護者一体となって積
極的な活動がなされてい
る。また来年度からは英語
の低学年化等多くの課題も
増えている。教育現場の意
見も聞き取り、むし歯予防
も町独自の方針や判断が必
要ではないか。

教育長 「健康ここのえ21」
や県の歯科口腔保健計画に
そって推進していきたいと
教育行政の基本方針にもう
たっている。

このほか、リーダー以上
の専門性をもっと高めて
いく配置の計画性につい
ても質問しました。

あたしのひとこと

緑を大切に

飯田 無田中

酒見 博文さん



私の住む飯田東部地区は「明治中期から昭和初期に開拓入植者で作られた集落」と九重町ではよく知られた事だと思えます。

江戸の中期から昭和の中頃まで筑後川水系では毎年のように水害で被害を受け、筑後地方の悩みの一つとなっていたそうです。しかし、昭和40年代に入ると水害は激減しています。夜明ダムが出来た事以外にも上流域での土地基盤整備や山林砂防整備など、上流域の農業資源開発が下流域の洪水量の減少に大きな役割をもたらしたのだと思います。



咲き誇るヤエベニシダレザクラ

ます。

九重「夢」大吊橋が出来た時「もうこれ以上の開発はやめてほしい」というコメントを覚えています。ですが、より多くの人が住み経済圏を発達させることで多くの生物生態圏を守ることが出来ているのも事実です。

先人の開拓者が一獲千金を目指したのか故郷を守りたかったのかは分かりませんが、山高水長住める土地にしたのは間違いありません。

担い手不足といわれる時代になりましたが飯田東部地区はまだまだ活気があります。私は植木の生産者です。これからも都市の緑・農業の緑・自然の緑を大切にしたいと思います。

「リベンジ」

野上 後野上

森 隆史さん



昨年9月、第11回全国和牛能力共進会が開催されました。これは、別名「和牛のオリンピック」と呼ばれる大会で5年に1度、39道府県から選ばれた和牛が競う全国大会です。

私も、肉牛区での出品を目指し、候補牛臨時家畜市場で由平福という名前の候補牛を導入しました。この時点ではエントリーした程度で、これから1年半の肥育の後、96頭の中から8頭が出場権を得ることが出来ます。

ここから、全共へ向けた挑戦の日々が始まりました。1年半の肥育期間の間、私の気

持ちの焦りから由平福の能力を無視した餌の増給をしてしまい、まったく餌を食べなくなり悩んだ日々もありました。

そして、運命の出場牛発表の日を迎えました。結果は：残念ながら私の名前は呼ばれませんでした。

由平福や、今までサポートしてくださった関係機関の皆様に応じない気持ちで一杯になりました。

このまま一般出荷しては由平福が浮かばれないと思い12月に大阪府で開催された共励会に出品してみました。

結果は、優勝?! までとは行きませんでした。優秀賞という賞を頂きました。

由平福と向き合ってきた時間が少し報われた、そんな気持ちになりました。願いはそんなに叶わないけど悪いことばかりでもない。

そんなことを思いながら今日も牛舎に立っています。



※由平福は、大分県基幹種雄牛・平福安(写真)の産子

傍聴へどうぞ 次回は3月です



つーだら・だった祭りに
600人以上のお客様



第1回南山田
ふれあい子ども食堂



このえ
ふれあいで
第8便



野上小学校
かるた大会



白鳥会のお勉強会

議会だよりについてご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集後記

あけましておめでとうござい
ます。今年は戌年。犬は社会性
のある忠実な動物であり人との
付き合いも良く親しみ深い動物
でもあります。

犬はお産が軽いとされること
から安産については、「戌の日」
が吉日とされています。九重町
においては高齢化率40%を越え
少子高齢化に歯止めがかかって
いません。今年の戌年にあやか
り一人でも多くの新しい生命が
誕生することを願っています。

昨年は北部九州の豪雨、台風
18号による甚大な被害が出まし
た。今年はこのような災害が起
きないことを祈ると共に町民の
皆様が安心・安全で笑顔の絶え
ない町づくりを議会一丸となつ
て取り組んでいきたいと思いま
す。

土井眞一郎



・広報委員長 佐藤 明郎
・副委員長 麻生 良典
・委員 佐藤 博美
・委員 土井眞一郎
・委員 増田 裕子
・委員 佐藤 太治